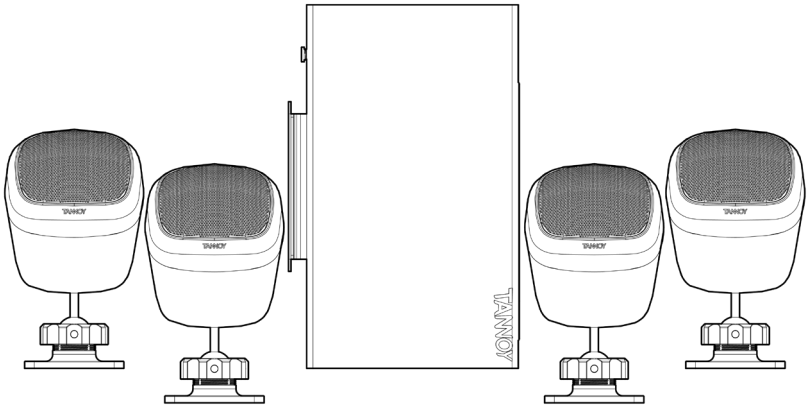
クイックスタートガイド

JP



SAT 3

Surface Mount Satellite Loudspeaker for Commercial Applications

SAT SUB

Compact Wall Mount Subwoofer for Commercial Applications

SAT SUB 4 PACK

Packaged Satellite-Subwoofer Loudspeaker System for Commercial Applications

V 1.0

TANNOY

JP 安全にお使いいただくために



注意

感電の.恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (¼" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキングプラグケーブル) を使用してください。

注意

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

注意

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

注意

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用の前に良くお読みください。

注意

1. 取扱説明書を通してご覧ください。

2. 取扱説明書を大切に保管してください。

3. 警告に従ってください。

4. 指示に従ってください。

5. 本機を水の近くで使用しないでください。

6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。

7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。

8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. ニ極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。ニ極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広くなっています。アースタイプの三芯プラグにはニ本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。

12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。



14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、 電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いただけません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45℃ 以下の温帯気候でご使用ください。

法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas、Klark Teknik、Lab Gruppen、Lake、Tannoy、Turbosound、TC Electronic、TC Helicon、Behringer、Bugera、Oberheim、Auratone、Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または-登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2021 無断転用禁止。

限定保証

適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 musictribe.com/warranty にて詳細をご確認ください。

前書き

このタンノイスピーカーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この製品範囲は、バー、レストラン、ショップでのバックグラウンドミュージックとフォアグラウンドミュージックの両方に最適です。シンプルなプラグアンドプレイ展開で、外部処理は必要ありません。SAT 3 サテライトスピーカーは SAT SUB サブウーファーに接続します

特徴

SAT SUB

• スリムライン 6.5" サブウーファー •2 つまたは 4 つのサテライトスピーカー用の統合クロスオーバーおよび端子 • ルーブスルー接続端子 • 平均 80 ワット、120 ワットプログラム •32 Hz – 260 Hz （ -10dB ）帯域幅 •70/100 用の内蔵トランス V 操作 • 壁に取り付け可能 • スチールグリル付きのマットブラックまたはホワイト仕上げ

SAT 3

• バックグラウンドおよびフォアグラウンド音楽用のディスクリート表面実装スピーカー • 軽量 2.5" フルレンジドライバー • 平均 15 ワット、25 ワットプログラム • 200 Hz – 20 kHz （ -10dB ）帯域幅 • 最適なカバレッジのための広い一定の指向性分散 • セミマットブラックまたは白い仕上げはどんな環境にも邪魔にならないようにフィットします • パン/チルト壁と天井マウントが含まれています

SAT SUB 4 パック

• 商用アプリケーション向けのパッケージ化されたサテライトサブウーファーラウドスピーカーシステム
•4 つの個別の SAT 3 サテライトスピーカーと 1 つの SAT SUB サブウーファーラウドスピーカーシステムが含まれています

開梱

すべての Tannoy 製品および付属品は、梱包する前に注意深く検査されます。開梱後、輸送中に損傷が発生していないことを確認するために製品を検査してください。万が一損傷が発生した場合は、直ちに販売店に通知し、輸送用カートンを保管してください。販売店から、故障したユニットを検査のために返送するように求められる場合があります。

安全上の注意

一部の地域の建設コードでは、バックアップサポートのセキュリティを提供するために、スピーカーを保護するための 2 番目の方法を使用する必要があります。二次サポートラインは、サブウーファーの背面にある二次安全ネジから壁の強力なソースポイントに接続する必要があります。

スピーカーを設置する前に、お住まいの地域の関連する建設規則を参照してください。

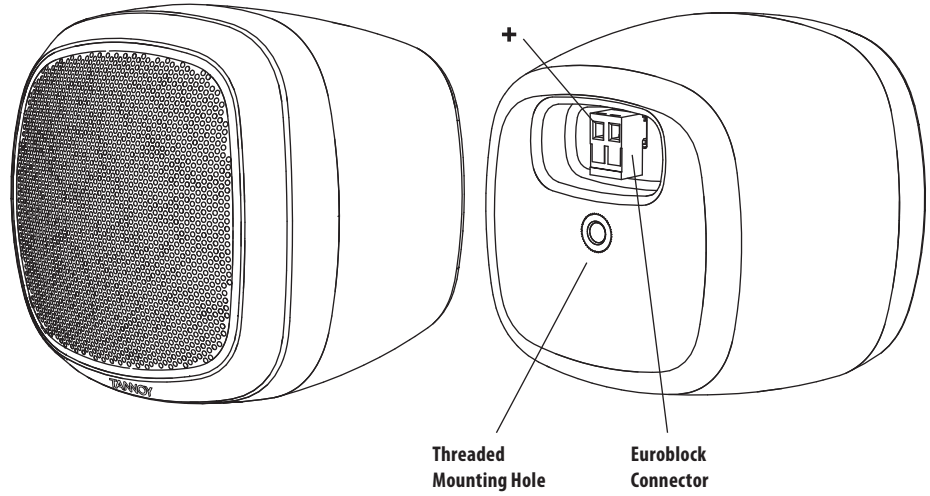
パワードライバーを使用して製品を取り付ける場合は、締めすぎや壁材の損傷を防ぐために、正しいトルクレベル設定を使用することが不可欠です。

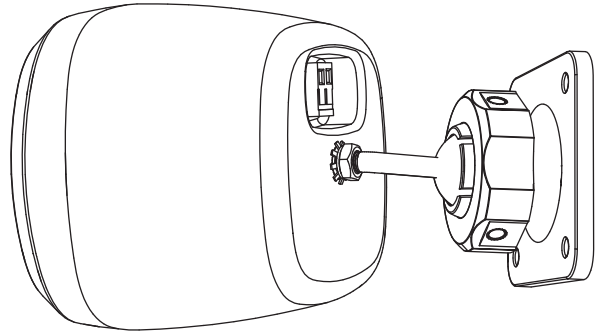
Tannoy は、これらのスピーカーの不適切な設置によって生じたいかなる損害についても責任を負いません。

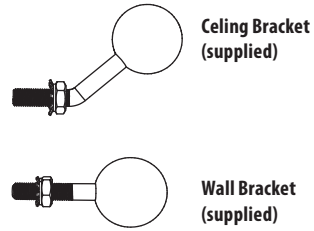
JP

製品の機能の識別

SAT 3

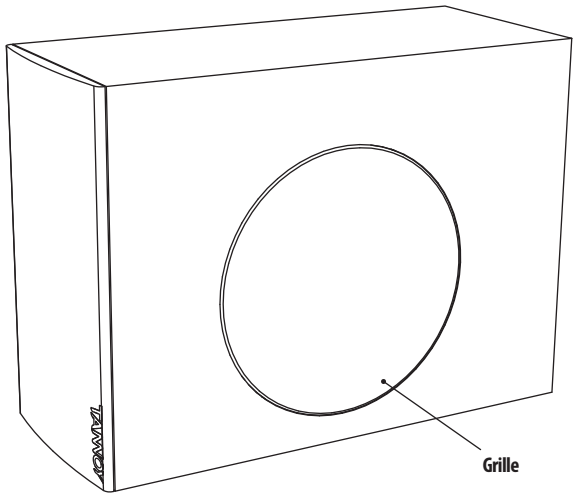


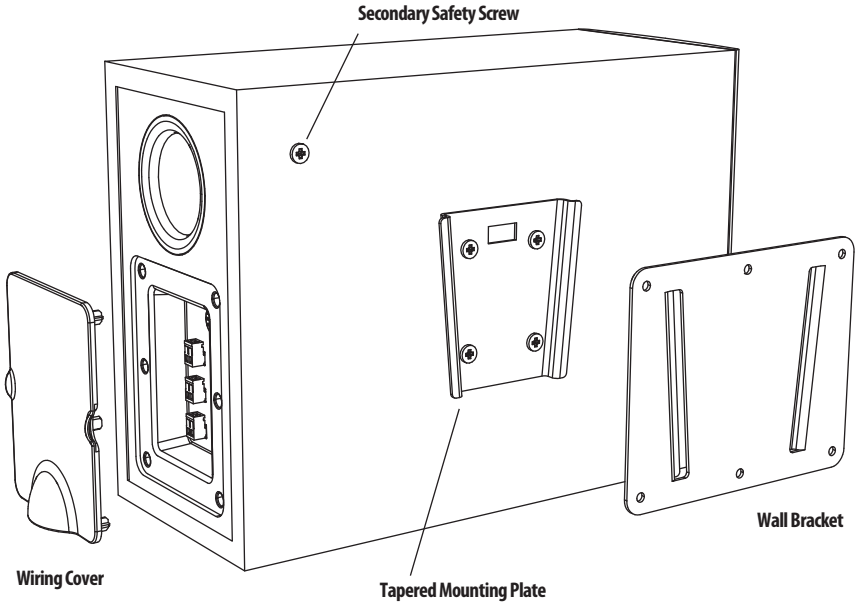




製品の機能の識別

SAT SUB



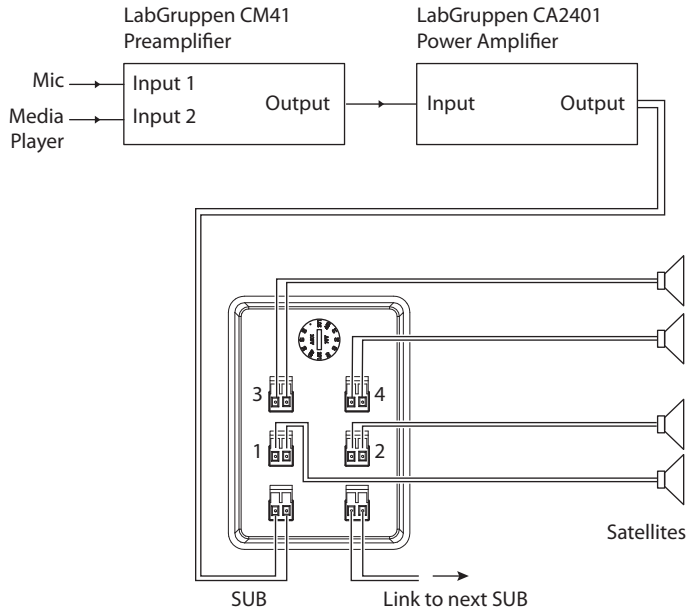


JP

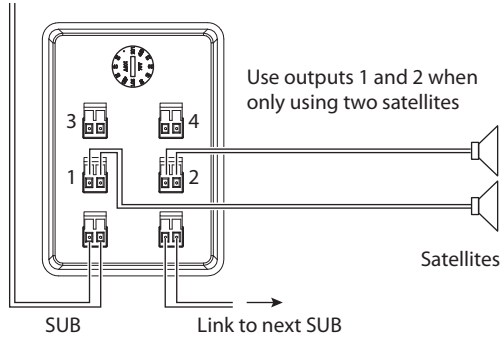
配線とセットアップ

典型的な接続図

1. ページングマイクやメディアプレーヤーなどの入力ソースは、LabGruppen CM41 などのプリアンプに接続できます。そのラインレベルの出力は、LabGruppen CA2401 などのパワーアンプに接続します。
2. パワーアンプのスピーカーレベル出力は、SAT SUB サブウーファーの入力コネクターに接続します。接続の詳細については、次のページを参照してください。
3. SAT 3 サテライトスピーカーは、SAT SUB サブウーファー端子板の出力に接続します。



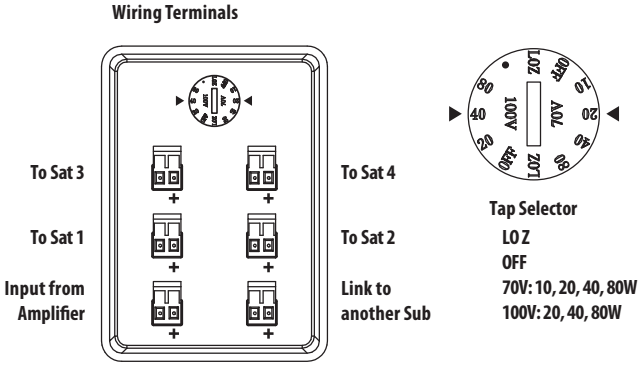
4. 2 つの衛星のみを使用する場合は、図のようにそれらを出力 1 と 2 にのみ接続します。



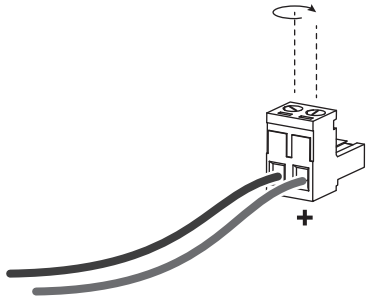
5. リンク出力は、別のサブウーファーの入力に接続するために使用できます。

端子接続

1. 警告：アンプまたはスピーカーへの潜在的な損傷を避けるために、ケーブルを接続または切断する前に、アンプのスイッチがオフになっていることを確認してください。
2. アンプの電源を入れる前に、すべての接続がしっかりしていて極性が正しいことを再確認し、サブウーファーのタップセレクタースイッチがパワーアンプと一致するように正しく設定されていることを確認してください。



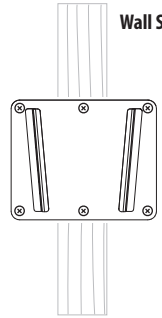
3. スピーカーワイヤーは、サブウーファーやサテライトスピーカーではなく、ユーロブロックコネクタのネジ留め式端子に接続されています。
4. サブウーファーとサテライトスピーカーの取り付けブラケットを事前に取り付けて、Euroblock コネクタを配線し、サブウーファーとサテライトスピーカーを後の段階で追加することができます。
5. Euroblock コネクタの 2 つのネジ留め式端子には、正 (+) と負 (-) のマークが付いています。
6. 1本の導体の外側の保護層を約 8mm (1/4") はがし、内側のコアをねじって、漂遊ワイヤからの短絡を防ぎます。正しい極性が正しいことを確認しながら、コアを Euroblock コネクタのネジ留め式端子に挿入します。両方のスピーカーワイヤーについてこれを繰り返します。ワイヤーをそっと引っ張って、しっかりと接続されていることを確認します。



JP

SAT SUB サブウーファーの取り付け

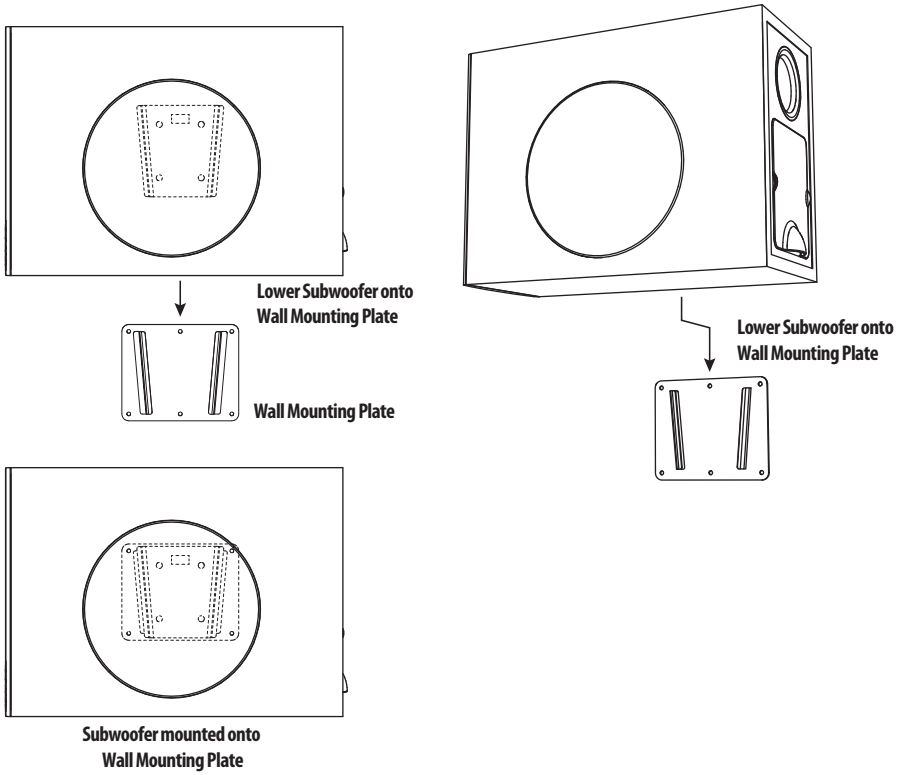
1. 警告：アンプまたはスピーカーへの潜在的な損傷を避けるために、ケーブルを接続または切断する前に、アンプのスイッチがオフになっていることを確認してください。
2. 以下の手順では、乾式壁/石膏ボードを使用した一般的なスタッド壁への SAT SUB サブウーファーの取り付けについて説明します。
3. 部屋の中の SAT SUB サブウーファーに適した取り付け位置を見つけます。これは実用的で、優れたオーディオパフォーマンスを提供します。さまざまな部屋の位置にある SAT SUB を使用してシステムを接続および操作して、最高のパフォーマンスを見つけることができます。
4. スタッドファインダーを使用して、近くの適切なスタッドを見つけ、この位置に印を付けます。警告：選択した場所に、電力線、他のケーブル、または上下水道、ガス管などの配管がないことを確認してください。
5. SAT SUB 取り付けブラケットはスタッドに取り付ける必要があります。ネジは、木材に入り込み、安全で安全な取り付け位置を作るのに十分な長さである必要があります。スタッドへの取り付けには、センタートップとセンターボトムの取り付け穴が使用されていることを確認してください。プレートが水平になっている (そして正しい方向に上がっている) ことを確認します。
6. スタッドの上にない他の取り付け穴については、適切なネジと壁プラグを使用して、安全で安全な取り付け位置を作成する必要があります。すべての取り付け穴を使用する必要があります。お住まいの地域の関連する建設コードを参照してください。



- All 6 mounting holes are used
- Center the mounting plate over the stud
- Wall plugs are used when not over the stud

7. 取り付けブラケットを乾式壁 (スタッドの上ではなく) に取り付ける場合、または固い石積みの壁に取り付ける場合は、適切なネジと壁プラグを使用して、安全で安全な取り付け位置を作成する必要があります。お住まいの地域の関連する建設コードを参照してください。
8. スピーカーワイヤーをアンプからこの場所まで配線し、接続に十分なたるみを残します。前のページの情報に従って、パワーアンプから Euroblock コネクターにスピーカーワイヤーを接続します。
9. SAT SUB サブウーファーを取り付けるまでに時間がかかる場合は、取り付けブラケットと配線を覆って、ほこり、湿気、塗料が入らないようにしてください。
10. SAT SUB サブウーファーには、二次安全ケーブルの接続点があります。これにより、地震時に SAT SUB が壁から外れる可能性が低くなります。壁に取り付ける前に、安全ケーブルを SAT SUB に接続してください。

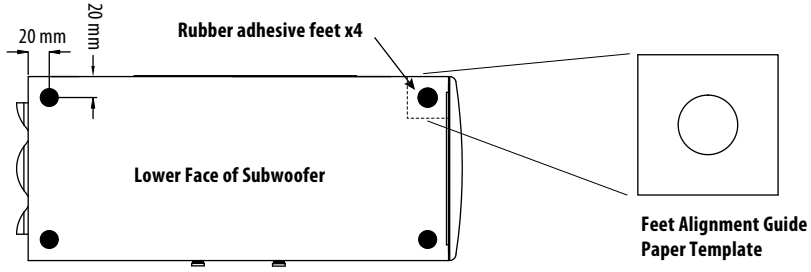
11. 準備ができたら、SAT SUB サブウーファーに取り付けられている取り付けブラケットを壁の取り付けプレートに慎重に合わせ、所定の位置に下げます。



12. カバーを配線端子に開き、パワーアンプからユーロブロックコネクタを接続します。SAT 3 衛星が設置されている場合は、それらの Euroblock コネクタも接続します。

SAT SUB フロア設置

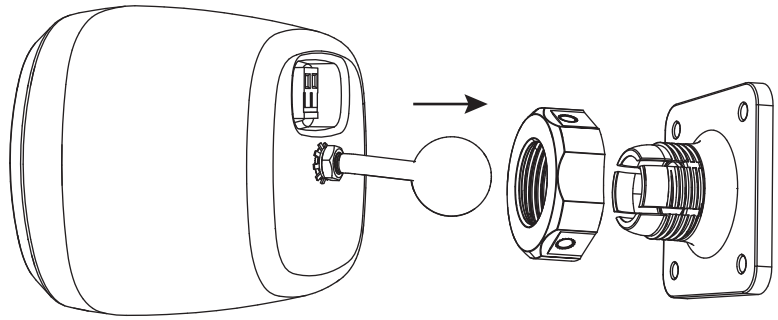
1. SAT SUB サブウーファーを壁に取り付けずに立った状態で使用する場合に備えて、4 つの粘着性のゴム製脚が用意されています。付属の用紙ポジショニングテンプレートをガイドとして使用して、各足を底の各隅にしっかりと押し込みます。足を所定の位置に押し込む前に、表面が清潔で乾燥していることを確認してください。



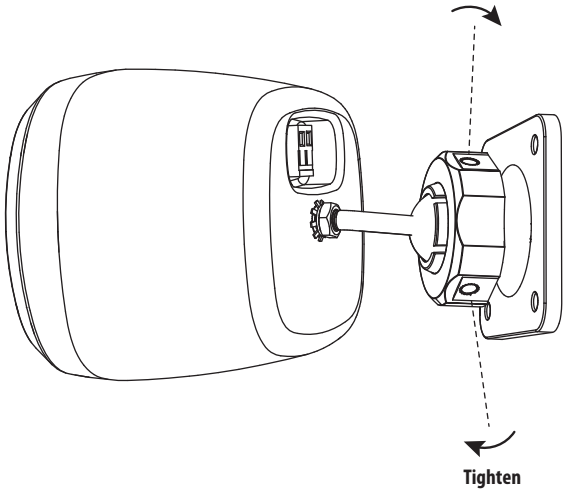
JP

SAT 3 衛星の設置

1. 警告 : アンプまたはスピーカーへの潜在的な損傷を避けるために、ケーブルを接続または切断する前に、アンプのスイッチがオフになっていることを確認してください。
2. 以下の手順では、乾式壁/石膏ボードを使用した一般的な壁または天井への SAT 3 衛星の設置について説明します。
3. 部屋の中の SAT 3 衛星に適した取り付け位置を見つけます。これは実用的で、優れたオーディオカバレッジとパフォーマンスを提供します。
4. スタッドファインダーを使用して、近くの適切なスタッドまたは天井ジョイストを見つけ、この位置にマークを付けます。警告 : 選択した場所に、電力線、他のケーブル、または上下水道、ガス管などの配管がないことを確認してください。
5. SAT 3 取り付けブラケットは、壁の間柱または天井ジョイストに取り付ける必要があります。ネジは、木材に入り込み、安全で安全な取り付け位置を作るのに十分な長さである必要があります。スタッドへの取り付けには、少なくとも 2 つの取り付け穴が使用されていることを確認してください。取り付けブラケットが水平であることを確認してください。
6. スタッドの上にない他の取り付け穴については、適切なネジと壁プラグを使用して、安全で安全な取り付け位置を作成する必要があります。すべての取り付け穴を使用する必要があります。お住まいの地域の関連する建設コードを参照してください。
7. 取り付けブラケットを乾式壁 (間柱や根太の上ではなく) に取り付ける場合、または固い石積みの壁に取り付ける場合は、適切なネジと壁プラグを使用して、安全で安全な取り付け位置を作成する必要があります。お住まいの地域の関連する建設コードを参照してください。
8. SAT SUB サブウーファーからこの場所までスピーカーワイヤーを配線し、接続に十分なたるみを残します。前のページの情報に従って、スピーカーワイヤーを SAT 3Euroblock コネクターに接続します。
9. SAT 3 衛星が設置されるまでに時間がかかる場合は、取り付けブラケットと配線を覆って、ほこり、湿気、または塗料が入らないようにしてください。
10. SAT 3 を壁に取り付ける場合は、真っ直ぐな取り付けアームを後部のネジ穴に取り付け、レンチで締めます。天井への取り付けには、代わりに曲がった取り付けアームを使用してください。
11. ブラケットが壁または天井にしっかりと取り付けられたら、大きなナットを外し、取り付けアームのボールの端をブラケットに押し込みます。アームをしっかりと押し込み、ナットを締めて SAT 3 を希望の角度に固定します。



12. ナットの周囲にある 3 つの穴のいずれかに小さなドライバーまたはバーを使用して、ナットをしっかりと締めます。 (穴の直径は 4.7 mm [0.185インチ]です。)



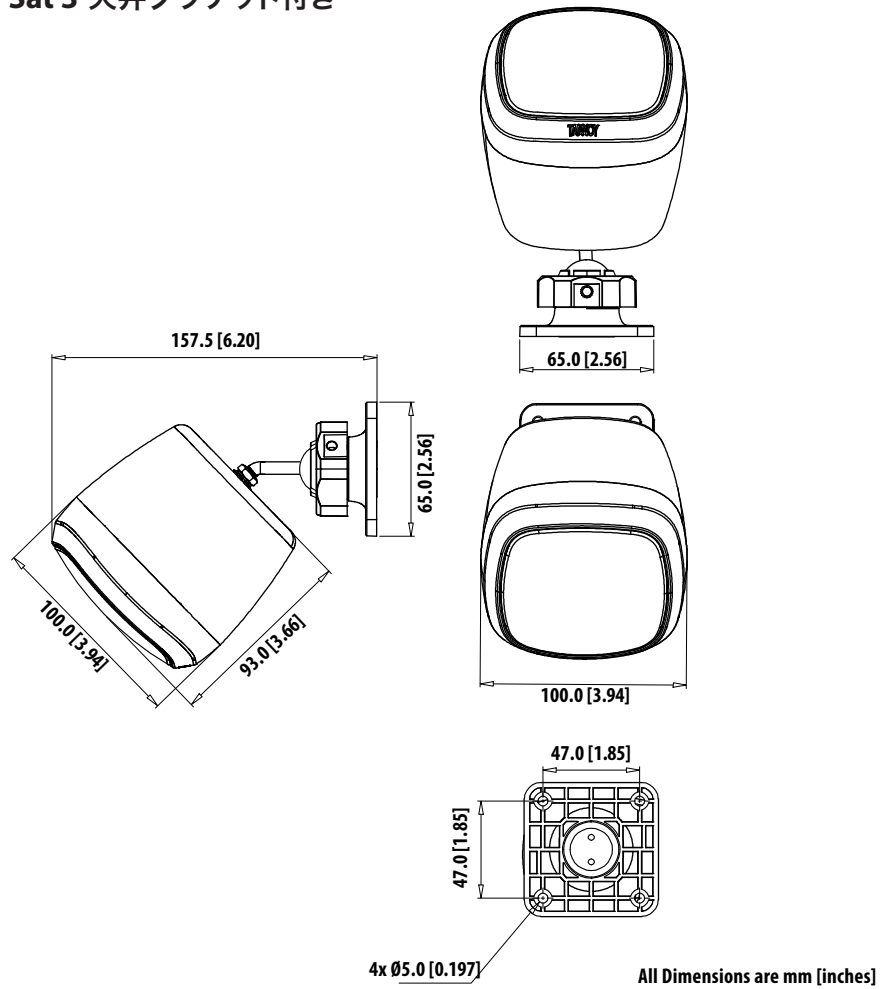
システムテスト

1. パワーアンプから SAT SUB サブウーファーまでの配線を確認してください。
2. SAT SUB サブウーファーから SAT 3 衛星への配線を確認してください。
3. SAT SUB サブウーファータップセレクターがパワーアンプとシステム設計に正しく設定されていることを確認してください。
4. 最初にプリアンプをオンにしてから、システムの音量を下げます。
5. パワーアンプの電源を入れます。
6. ソース素材を再生し、音量をゆっくりと希望のレベルに調整します。
7. 各スピーカーが正しく再生されていることを確認してください。
8. 一般的な使用では、パワーアンプの前に最初にプリアンプをオンにし、シャットダウンするときは、プリアンプの前に最初にパワーアンプをオフにします。これにより、システムでオンとオフの「ゴツン」という音が聞こえる可能性が低くなります。

JP

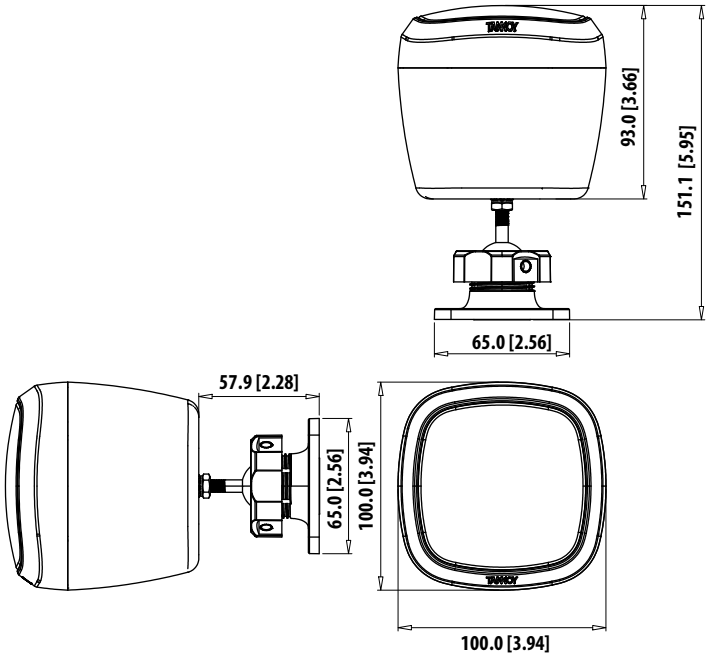
寸法

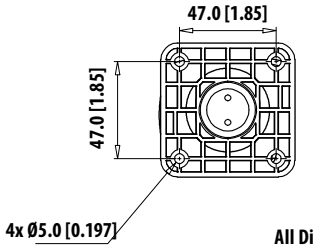
Sat 3 天井ブラケット付き



寸法

壁掛けブラケット付き SAT 3



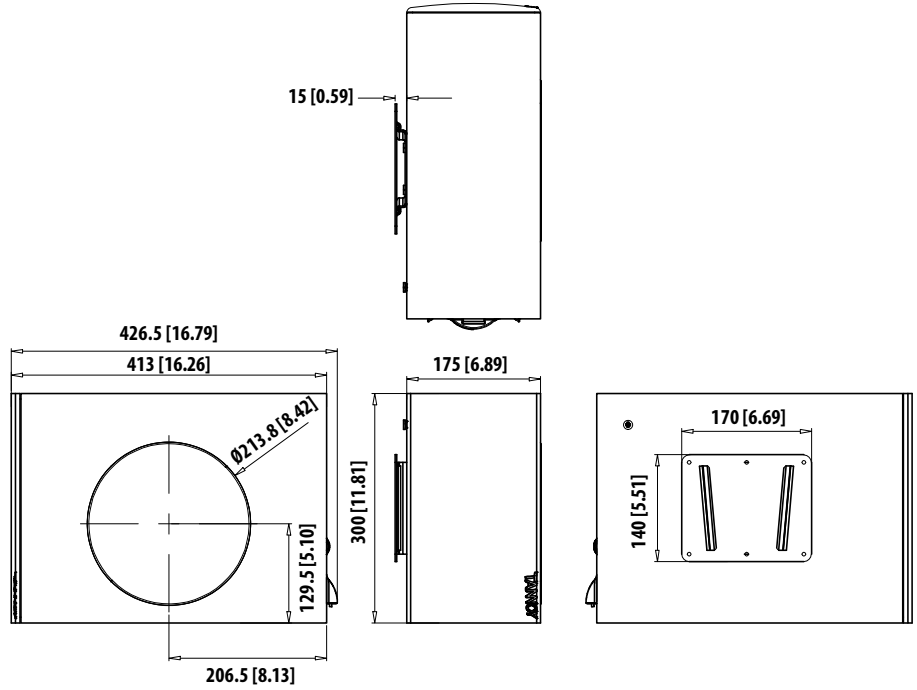


All Dimensions are mm [inches]

JP

寸法

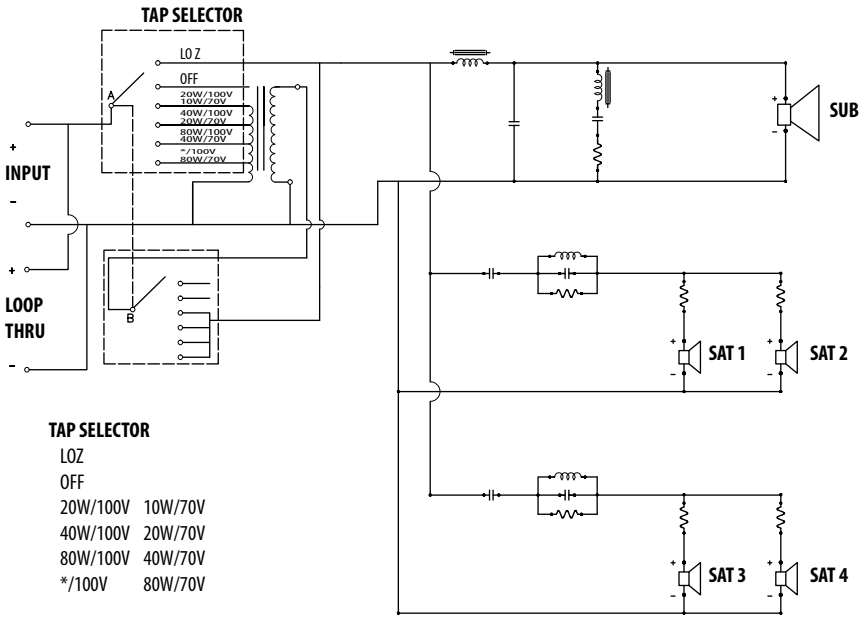
SAT SUB



All Dimensions are mm [inches]

JP

ブロック図



TAP SELECTOR

LOZ	
OFF	
20W/100V	10W/70V
40W/100V	20W/70V
80W/100V	40W/70V
*/100V	80W/70V

JP

仕様

	SAT 3	SAT SUB
パフォーマンス		
周波数応答 (-10 dB)	200 Hz –20 kHz	32 Hz – 260Hz
感度 1 W/1 m	83 dB	93 dB
パワーハンドリング		
平均	15 W	80 W
プログラム	25 W	120 W
推奨アンプパワー	25 W @ 16 Ω	120 W @ 8 Ω
公称インピーダンス	16 Ω	8 Ω
最大 SPL @ 1 m	100 dB	116 dB
変圧器の蛇口	NA	100V: 20、40、80、8 LoZ, 70V: 10、20、40, 80、8 LoZ
クロスオーバーポイント	NA	200 Hz
カバレッジ角度 @ 1 kHz	水平 265°、垂直 265°	
トランスデューサー		
直径/材質/タイプ	63.5mm (2.5") 用紙	1 x 165 mm (6.5") 用紙
物理的		
エンクロージャー材料	ABS	MDF
グリル素材	鋼	鋼
コネクタ	フェニックスコンタクト端子台	フェニックスコンタクト端子台 x 6
寸法 (HxWxD)	100 x 100 x 93 mm (スピーカーのみ、ブラケットは含まれていません)	175 x 413 x 300 mm (スピーカーのみ、ブラケットは含まれていません)
正味重量	1.16 kg (2.6 ポンド) (ブラケットを含む)	10.7 kg 23.5 ポンド) (ブラケットを含む)
付属のアクセサリー	天井マウントブラケット、 壁マウントブラケット	壁掛けブラケット、 4x ゴム足、および紙のポジショニングテンプレート

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択: ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

2. 故障: Music Tribe ディーラーがお客様のお近くにないときは、musictribe.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お 客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。